

<基本情報>

改組予定年度：令和9年度
改組内容：学部の新設
設置等組織名：芸術工学部芸術工学科
入学定員：【R9新設】100名
所在地：川崎市麻生区

芸術工学部が必要とされる
社会的背景

- ◎ 社会生活におけるwell-beingを支える音楽や芸術文化の多様化と進化
- ◎ 科学技術・イノベーション基本計画（サイバー空間とフィジカル空間の融合）
- ◎ デジタルコンテンツ市場の拡大と社会的な期待

昭和音楽大学芸術工学部の特徴

芸術工学部 芸術工学科

デジタルエンタテインメントコース

デジタルコンテンツの供給に必要な教養および
技術を学ぶ

デジタルコンテンツ構想コース

多様なデジタルコンテンツを理解し、社会実装を
進めるための経営に関する知見を学ぶ

デジタルエンタテインメントコース、
デジタルコンテンツ構想コースの2コースを設置

特筆すべき内容として評価！

国際的に認証される技術的水準のプログラマーの養成

芸術分野と連携した学びによって、情緒や感性がある
クリエイティブな人材の育成

特筆すべき内容として評価！

入学者の意欲やビジョンを確認する面接を行うことによって
デジタルコンテンツの社会実装に寄与できる人材を獲得する

人材ニーズと社会ニーズの把握

日本のコンテンツ市場規模は約10.6兆円、
さらにフィジカルに対するデジタルの割合は増加傾向

人材ニーズに関しての地域、業界に対する
定性（ヒアリング）定量調査（PBLを前提）を実施

年10,000千円
の寄付金を募集

カリキュラムの編成方針

他の大学ではあまり見られない取り組みを行っている点として評価！

市場規模や人材需要を分析した上で芸術分野の知見を持つ人材の育成

プログラミング、作曲技法、音楽実技等で技術と情緒や感性のバランス

人材育成のあり方

フィジカル空間とサイバー空間における
芸術工学の知見

劇場・コンサートホール
の活用

社会実装段階に近いワークスペース等の
配置、PCが配置される教室の設置

実務家教員を中心とした
基幹教員の任用